浜松南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
TEL(053)441-1486㈹
FAX(053)442-0148

印刷
富士印刷株式会社

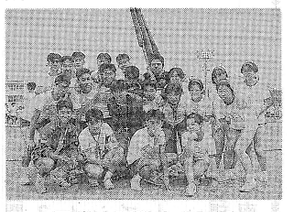
校訓　最善を尽くそう

2年ぶり 新運営の体育大会

去る十月五日に校内体育大会が行われた。やや肌寒い日であったが縦割りのクラス対抗で全校が燃え上がった。

昨年は順延日も雨にたたられて中止となり、一・二年生にとって高校生活初めての体育大会となった。その上、今回は例年とはかなり異なった性格のものになった。それは大会運営の主体が先生方の手から生徒会の手に移った点である。生徒の手によって運営されることにより、参加者の意見を活発に取り入れた新鮮な体育大会となった。新たな競技は増えなかったがリレー全般そして綱引きでは大いに盛り上がった。特に綱引きは全学年入り乱れての争いとなり周辺には応援の生徒が多数集まり競技者と一体となり大声で応援した。

生徒会のがんばりにより先生方は仕事から解放され、のんびりと生徒の活躍ぶりを楽しむことができた。マンフレッド先生も特別参加で綱引きの決勝に出て下さった。しかし、相手側の特別参加が怪力のハンド部顧問で健闘空しく破れた。


優勝の原動力36HR

総合得点表

順位	チーム	HR	得点
1	F	36・26・19	237
2	D	34・23・16	232
3	B	32・28・17	223
4	C	33・24・15	205
5	E	35・29・18	168
5	H	38・25・12	168
7	G	37・27・10	164
8	A	31・20・11	159
8	J	30・22・14	159
10	I	39・21・13	156

最後に一つ次回にむけ新たに加えてみたら面白いのでは？という競技を考えてみた。すでに他校では行われて大好評の部活動対抗リレーはどうだろうか。これならば大会に参加できない陸上部も参加でき部の名誉を懸けた熱戦が繰り広げられるだろう。番外プログラムとしてきっと話題を呼ぶこと間違いないと思う。それぞれの部の部のユニフォーム（袴や道着など）で出るとさらに盛り上がるのでは。

次に大会運営の新しい試みに最も苦労した体育委員長山田喜靖君(20)にその様子を語ってもらった。

「本当はまだ生徒会行事になったというわけではないんです。下手な運営をすればまた学校主催になる場合だってあるんですから。」

工夫した点は？

やはりどれだけ生徒会行事を表に出せるかです。様々な役割で生徒会役員の人々に動いてもらい、また体育委員会の機能を活発化するため今までやったことのないような会議を開いたりしました。

苦労した点は？

今まで先生方に中心となり運営していた部分を生徒が中心となって行うこと、それと先生方にどうすればおこられずにすむか考えたことです（笑）

なぜ生徒会主催に？

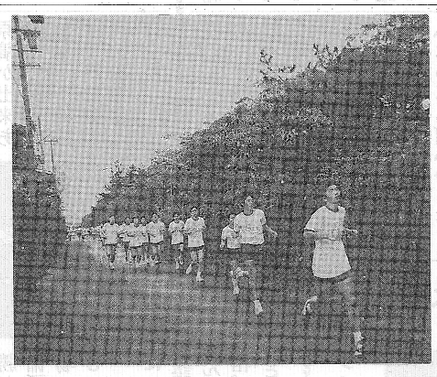
まず一つは先生方と僕達がほぼ同じ事を考えていたということです。そして第二に体育委員の人々が前の運動大会で生徒会役員の人々と協力してしっかり運営することができたからです。そのため先生方が〝今回はやらしてみようか〟みたいな感じで生徒会主催にもっていけたと思います。

反省点は？

やっぱり一番の失敗は最後の表彰式です。あそこまでは80点以上の出来だったのにあそこでいっきに60点くらいになってしまったから、まあ初めてにしては上出来だと思いますけどね。

マラソン大会

男子陸上部上位独占
女子バスケット部大活躍


あと2キロか？

去る十一月十八日（木）にマラソン大会が行われた。スタート前、雨に見舞われたが、女子のスタート前には運良く(?)雨も上がり、寒くもなく良いコンディションとなった。みんな健闘し、ほとんどの生徒が完走した。

個人男子の部

一位	鈴木　守弘	23	陸上
二位	鈴木建太郎	23	陸上
三位	岡田　隆	16	陸上
四位	松岡　謙次	23	陸上
五位	和久田宏記	27	陸上
六位	松野　光弘	28	陸上
七位	村瀬　大樹	28	陸上
八位	青野　洋	25	陸上
九位	長谷川直晃	11	陸上
十位	加藤　和弘	15	陸上

個人女子の部

一位	脇田久美子	24	バスケ
二位	小野田展子	26	バスケ
三位	原　瑠美子	23	バスケ
四位	青島　里美	24	バスケ
五位	鈴木久美子	23	テニス
六位	福嶋　直子	14	バスケ
七位	堀内　正子	13	バスケ
八位	田光真理子	25	バスケ
九位	山内裕美子	14	バスケ
十位	阿部里江子	21	陸上

論説

「歴史は繰り返す…。」

今年、一九九三年はあの関東大震災の年から数えてちょうど七〇年目である。そして、記録によると、過去におけるいわゆる『大地震』はおよそ七〇年周期で起きている。つまり、今から二〇三〇年いや、ひょっとしたら明日にでもマグニチュード七クラスの地震が起こる可能性が極めて高いといえるのではないか。

さて、ここで話は変わるが、太古の昔太平洋上に存在したあの伝説のムー大陸の事について書かせてもらおう。ムーの滅亡の原因については諸説流れているが、中でも信憑性が高いのは『火山連鎖噴火説』である。ムー大陸の地下には数多くのマグマだまりがあったのだが、そのまわりには地下水も存在しており天然のラジエーター効果を果たしていたけれどもムーの人々は自然を軽視して自らの超文明に頼りすぎていたのではないか。地下水を汲み上げすぎ、自然界のバランスを崩してしまったのではないだろうか。

つまり、①マグマを冷却していた地下水が失われる。②何かのきっかけで大陸の火山が噴火する。③空になった地下水脈に隣の水脈から水が流れ込む。④次々と圧力変化が起こる。そして⑤大陸中の火山という火山が噴火する。と、こういったプロセスで連鎖噴火が起き、ムーは自然の力と人類のおごりとの相乗効果により一夜にして海中に没してしまったと思われる。

なぜ今こんな話を挙げたのか。現在、ムーと同様の高度文明社会、そして同じく世界に類をみないほど火山が集中している国―そう、まさにこの日本にも同じ危機が迫っているのだ。

日本は四つのプレート（地殻）上に位置しており、非常に不安定な状態にある。さらに日本最大の活火山、富士山はこのプレートの接点に位置しているのだ。現在富士山は一七〇七年の宝永の大噴火以来、約二九〇年も沈黙を守っている。しかも、その噴火の周期は三〇〇年なのだ。つまり、今から数年のうちに大地震の周期と富士山噴火の周期とが丁度重なるのだ。今、大都市では地下水の汲み上げすぎによる地盤沈下が大きな問題になっている。そこに、伊豆半島沖を震源とする大地震が起こればそれを皮切りに富士山が噴火し、地下水が失われてしまい関東一帯の水系が崩壊し、東京大陥没という大惨事が起こるのだ。さらにその波及効果により日本各地の火山が噴火し始め、間違いなくムーと同じ運命を辿ることになろう。

これは、文明を過信しすぎて自然現象をかえりみる事をおこたってきた我々人類への天罰なのかもしれない。

だとしたら我々にはもう手の打ちようがないのだろうか…。

山の村体験記

深まったクラスの友情

宮崎晃士(12)

「先生、あれは富士山ですか。」

僕は小柳先生に問いかけた。

「あれは富士山じゃなくて宝永山よ。」

先生はここに何度も来たことがあるらしく、自信ありげに答えた。しかし、僕達にはどう見てもあれは富士山にしか見えず、もう一度聞いてみた。すると、小柳先生は言った。「やっぱり富士山だ。」

先生はマンフレッド先生にもうそついていたらしく、謝っていた。これは自然観察での出来ごとだった。

自然観察も終わり、夜は鉄板焼きをした。僕達のやきそばは、とてもおいしくできた。

二日目はバレーボール大会だ。僕のチームはクラスのベストメンバーでマンフレッド先生のチームと闘った。マンフレッドの活躍によって僕達は惜しくも負け、大士君は悔しかったらしく、マンフレッドに一言「かかってこい。」

するとマンフレッドはおどけながら答えた。

「ワッワタシ?」

マンフレッドのパワフルなアタックの前に大士君はなすすべもなく敗退した。

三日目は朝、雨が降っていたので、予定変更で七宝焼になった。山の村のお姉さんに教えてもらいながら、きれいな七宝焼が出来上った。形としては平残り、良い思い出になった。

三日間を通して思ったことは、クラスの仲間が以前にも増して仲良くなったことだ。この三日間は山の中での生活とあって少し不便なところもあったけれど普段の生活では体験できない自然と触れ合いながら新鮮な気持ちで暮らせて、とてもよかったと思った。

ふれあいの旅

研修旅行

クラス解体・グループで行動

十月十九日（火）から二十二日（金）まで研修旅行が行われた。今回は、一年時のアンケートに基づき、四国・山陽・近畿の三つのコースに分かれ、それぞれが好きなコースを選択した。したがって、クラスを越えての班編成が行われた。四月当初から自分達で資料等を集め、行き先を計画してきた。各それぞれが楽しい思い出を作ってきたが、次は各コース別のレポートである。

四国コース

四国コースには百九十九人の生徒と十人の教師が参加した。一日目は広島周辺を班別で研修した。ほとんどの班が原爆ドーム、平和資料館を見学した。日常の平穏な生活の中で忘れられている平和の大切さを改めて思い知らされた。

二日目は水中翼船で四国に渡り、松山を研修した。松山といえば、坊ちゃんである。坊ちゃん団子をはじめとして、市内には漱石の坊ちゃんにちなんだ史跡やお土産にあふれていた。

三日目は高松を研修した。高松は研修場所が班によってばらばらであった。最終日は、瀬戸大橋を渡り、本州に戻りながらの研修を行った。

今回の研修旅行は、楽しい高校生活の思い出の一つとなることだろう。

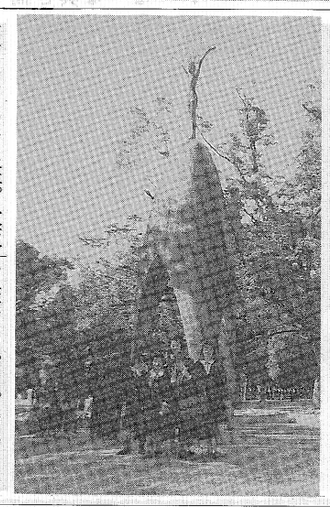
近畿コース

新大阪で新幹線を降り、東海道線新快速で三ノ宮へ。関西の雰囲気に触れるにつれ、旅の期待は高まってきた。

近畿方面の良い所は、何といっても移動のしやすさ、見るべき所の多さである。各班のテーマに沿って様々な旅を計画できたことである。新旧の時代の移りかわりをポイントに古都京都、異国情緒漂う神戸、そして未来の港湾都市ポートピアを配した班、食文化と人情をテーマにした班。大阪海遊館のスケールを目を輝かせて語った班。中学校の修学旅行等で誰もが訪れたことのある土地を自分たちの目でとらえ直す旅であった。中でもお勧めは京都御所である。古典の中に出てきた建物を自分の目で確かめて、イメージをふくらめてみてはいかが。

山陽コース

山陽コースは、広島、岡山、兵庫（神戸方面）を訪れ、各班ごとに立てた計画のもとに研修を進めました。そのためすべての班が同じ場所へ行ったということは少なく、唯一あるとすれば、広島の平和記念公園だと思います。平和記念公園には原爆資料館やしのほかに色々なものがありました。そして公園の横を流れている元安川の対岸には四十八年前の姿を今もとどめている一つの廃墟がありました。その姿から原爆の威力が多少は分かったような気がしました。



移動の仕方は専ら電車か新幹線でした。在来線でその土地の高校生とも乗り合わせたり、瀬戸内海を車窓から一望できました。いろんな事があったけれど、全て良い経験になりました。

人を語る

鈴木が語る地球滅亡の日!?

鈴木隆治先生

―宇宙に興味を持ったのは、いつ頃からですか。

宇宙についてはみんな子供の頃から興味があると思うんですね。私は高校の頃から宇宙に興味を持ち始め、アインシュタインなどについて勉強しました。その時は、紙と鉛筆があれば計算できることがすばらしいと思っていましたね。

―なぜ数学の先生に？

むかし、コンピューターの開発の研究をする日立の研究所に勤めていました。だけど勤めているうちに人間社会のことが全て数字で表されるのがいやになってきて、もっとその数字を自然のことに使えるような仕事に就きたいと思って三年で会社をやめました。数学はもともと好きだったし、の宇宙モデルというのを考えました。

―鈴木の宇宙モデル!?

次の世代の子供たちに伝えることだと思い、数学の先生になりました。

やはり宇宙のことも勉強していくと、数学とつながっているんですね。数学の中の環境数学では、地球規模で今何が起こっているかを数学モデルを使って計算できるんです。

―研究テーマにはどんなものがあるんですか。

まず一つめは宇宙開発の問題で、月や火星へ行くのにどのくらいのスピードで行けばいいのか、どのくらいのロケットが必要か、などについて研究しました。2つめとして、特殊相対性理論、3つめは一般相対性理論で鈴木ことを覚えていますか。

―先生、宣伝はそのくらいにして…

去年、小惑星が地球にぶつかりそうになったことです。詳しいことは図書室に私の本があるので、みなさん是非読んでみて下さい。

―はい。テレビなどでうわさになっていたけれど、結局ぶつからなかったというのですね。

そう、その小惑星が本上に落ちると、木が熱で燃え、百キロメートルの巨大な穴があきます。水柱ができます。それが下に戻って五百メートル以上の高波が発生し、日本は沈没してしまいます。さらに、マグニチュード十二の大地震がありますし、そして、ダストという海底がとけたものが、すすみたいな状態で大気中に飛んでいくんです。それが地球全体が灰色になり、太陽の光が遮断されます。そして、気温は下がり、大動物は滅亡、小動物は地下へ逃げます。

―もう地球は破滅ですね。でもこれだけのことが数学でわかってしまうなんてすごい!!

こういうことを勉強していると、数学がいかに大切か、ということがわかってくるでしょう。数学には受験数学とは違ったおもしろいものもあります。だから、そういうのを取り入れながら楽しく授業をやっていきたいと思います。

正しいメガネでしあわせを…
メガネの吉田屋
広小路店　浜松駅前広小路通り　☎453-1188㈹
旭町店　浜松・旭町（浜松郵便局前）　☎454-0181㈹
高台店　浜松・幸一丁目（ユニー前）　☎473-8118

遠州灘

「マーフィーの法則」というものをご存知だろうか。別に数学や物理のような難しいわゆる学問的な法則ではない。

一例をあげてみよう。「失敗する可能性のあるものは、失敗する。」

当り前のようだけれども思わず考えさせられる何かがある。さらに、「試験に備えてノートを読み直すと、もっとも大切な部分が判別不可能である。」「帰るより行くのに時間がかかる。」「トイレに座ったら電話が鳴る。」

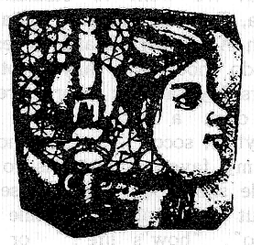
こんな日常的なことが、実は宇宙の法則であると聞くと少し驚かないだろうか。しかし、れっきとした学者や評論家によって法則として発表されているのだ。そしてよく似た現象やそのものずばりを誰もが体験しているのである。だからこそ「法則化」されるのであろう。つまり、日常の出来事は偶然でなく、すべて法則に支配されているのである。これらの法則の発見もまた自然科学なのだ。

実は日本に昔からある諺、格言にもこの法則がみられる。「千慮の一失」、「二度あることは三度ある。」等。

日常はすべて法則化されていると考えれば、失敗をしてもあまり悲観的になることはない。「これも法則なんだな。」と思えて少しは気が楽になり、気持ちを一新して次のことに挑戦できるのではないだろうか。

『気持ちを早く切りかえるほど確率は高くなる』

（by Y／I）


yajimaya
谷島屋書店
YAJIMAYA
浜松市連尺町309-1　☎053(453)9121㈹

CAMPUSへ……
高等学校購買／スクール
ユニフォーム／スポーツ
ウェア／事務機器　他
キャンパスは、多彩なアイテムを通して
実り豊かな学園生活を応援します。
株式会社　キャンパス
本　社／〒430 浜松市植松町1475番地の10
TEL 053-465-5225　FAX 053-465-4101
静岡営業所／〒422 静岡市中田本町56番地の1オリンピア内
TEL.FAX 054－288－2271

マイケル・J・フォックス最新作！

バラ色の選択
12月25日(土)より上映　中央3

贈りものに
全国共通図書券
教科書・新刊書籍・雑誌
参考書・各専門図書・地図
文泉堂書店
〒430 浜松市連尺町314－1　TEL 454－6358代表
FAX 454－4518

購買進化論&アンケート

本年四月からパンの購買方法が改められた。従来は購買委員がクラスの注文をまとめ、昼休みにまとめてパンを配っていた。しかしこの方式では事前に注文をしない限りパンが買えないという不便さがあった。購買の在り方に対するいろいろな意見をもとに、四月からは業者による対面販売に変わった。また、十一月からパンの種類も増え、選択の幅が広がった。

この新方式になってから、月曜日から金曜日とかかさず、昼休みの購買室の前はワイワイガヤガヤと騒がしい。これをさばく購買の販売担当の方も忙しそうだ。

その合い間を縫ってお二人にインタビュー。

―みんな顔は知っていても、お二人の名前は知らないと思いますので、教えてください。―

「松本素子です。」

「松本咲紀子です。」

（右咲紀子さん左素子さん）

次にいくつかの質問。

―パン人気BEST3―

一位ホイップクリーム

二位フルーツデニッシュ

三位コーンマヨネーズ

―最もよく売れる日―

金曜日

―何か南校生への要望―

「特にありません。南高生はしっかりと並んで、待っていてくれるので言うことないです。」

さて、ここで十一月二十六日に行ったアンケートの結果を紹介しよう。結果はご覧の通りグラフにまとめてみた。

アンケートの希望覧で多数だったものをあげてみた。

―売ってほしい品物―

一位　おにぎり

二位　アイスクリーム

三位　ゼリー

四位　焼そば

―その他の要望事項―

・開店時間を長くする

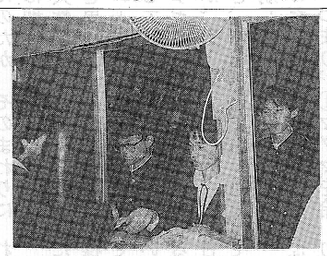
・客の流れを速くする

・販売の人を増やす

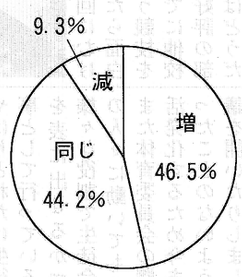
・文房具を販売する

アンケートを集計してみると利用回数は昨年に比べ増え、ずいぶん利用しやすくなった。

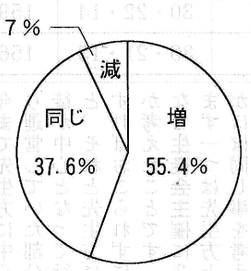
学校生活において購買室は、生活と大きくかかわるのでこれからもどんどん良くなっていってほしいと思っている。来年以降のよりいっそうの充実を期待したい。



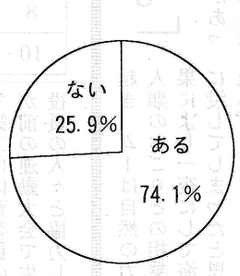
3　4月当初からの利用回数の変化



2　2年・3年
1をあると答えた413人
昨年と比べての利用回数の変化



1　生徒825人
購買室を利用したことがあるか。



ワークキャンプに参加

『ボランティアは誰にでもできる』

高校生にボランティア活動への理解を広め、その実際を体験してもらおうと各種団体が、いろいろな講習会等を行なっている。本校でも、この夏休み一・二年生を中心に、講習会に参加し貴重な経験を積んだ人たちがいる。高校生社会参加リーダー講習会（場所観音山青少年自然の家、八月十八日～二十日）に四名。社会福祉協議会主催ワークキャンプ（場所西部養護学校、八月十四日～十六日）に五名。ボランティア活動への関心の高まりを反映して、県内全体から応募があった。この体験を通じて何を得たか。参加者に感想を語ってもらった。

ボランティアをもっと身近に

伊豆田朋子(23)

ボランティアという言葉を聞くと、多分大抵の人が、何か特別なもののように感じてしまうのではないだろうか。興味はあってもどんなことをしたらよいのかわからない……私もそんな一人だった。

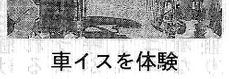
この観音山での三日間の研修は、そういう人たちのためにボランティアに対する考え方を教え、また行動するきっかけを与えてくれるものだった。

県内各地から集まった百名以上の人たち。多くの高校生に混じって大学生や社会人の人もいた。南高からは私も含めて四人が参加したが、ボランティアに関心のある人たちがこれほどいるということにまず驚かされた。

二日目は、車椅子体験とアイマスク体験をやった。実際車椅子に乗ってみると、視界が違うのはもちろん、普段何気なく昇り降りしているほんの小さな段差の一つ一つが、大きな障壁のように感じられた。私とペアになった子は、週に一度、車椅子の生活をしている叔父さんの所へ通っている、という話をしてくれた。また講師の先生は、もう十年以上も車椅子の生活をしている方だったけれど、よく外出なさるそうだし、最近一人でアメリカまで行かれたこともあるそうだ。

こうした話を聞いて、私は身障者と健常者には境などなく、みんな一緒に生きているのだということを改めて感じ、とても身近に思えるようになった。見かけのきれいさ、便利さだけを追及した町ではなく、本当に誰もが住みよい町。そのためには住む人の心の中のゆとりも大切なのだと思った。

一番印象的だったのは、「ボランティアは誰にでもできる」ということを教えてくれた講義だろう。例えば、運動部の人なら近くの老人ホームなどの施設の運動会の手伝いをしたり、楽器の演奏ができる人なら演奏を聞いてもらうように、まず年に一度くらいのペースで何か始めてみたらどうかという提案があった。それを聞いて、私は心が少し軽くなったような気がした。決して無理をすることなく、自分の得意なことから始める。そして焦らずに少しずつ続ける…そう考えたら、私たちにも何かできそうに思えてきた。こういう気持ちをもてるようになったのは、この三日間の最大の収穫だったように思う。


車イスを体験

前原　潤子(26)

ボランティアの意味を誤解していた私にとってとても有意義なものでした。また参加したいです。

冨田あゆみ(21)

車椅子体験が印象的でした。自分と異なる意見を持つ友達と知り合えて勉強になりました。

袴田江利子(18)

大変勉強になりました。ボランティアに関心を持っている多くの仲間と出会えてとても嬉しかったです。

講演　国際化と異文化との出会い

中尾さん英語スピーチ最優秀賞

帰国子女の部

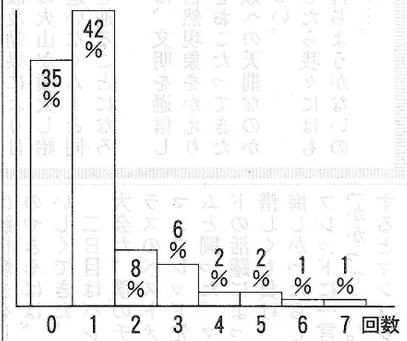
十二月七日に静岡県立大学から金両基教授を迎えて講演会が行われた。金教授は身の回りの物や食物などを例にして国際化について語り始めた。

実際にあったことを話し文化の違いをわかりやすく説明してくれた。考え方の違い、宗教的な違い、人種の違いなど言葉でいわれるだけで実際あまり知られていないことなどをこれによって理解することができた。そして、文化が違うからといって劣っているということではなく、どれも独自のすぐれた文化を築いているのだと教えられた。これから各々の文化を理解し協力していく必要があることも知った。講演後生徒から活発な質問が出て、教授も喜んで下さった。

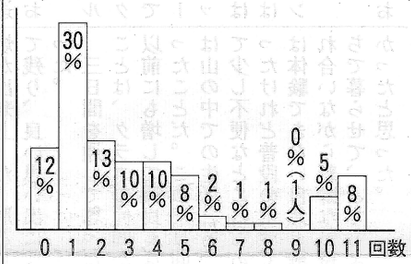
この講演で国際化とは何かを考える良いきっかけになった。

静岡県立大金両基教授

4　週利用回数（611人中）



5　月利用回数（611人中）



部活動報告

水泳部鈴木雅子さん国体出場

去る九月七日、第十八回東四国国体に、水泳部の鈴木雅子さん(10)が二百Mリレーで出場した。鈴木さんは幼稚園の年中の頃から水泳をはじめ、現在も、部活やスイミングで毎日二時間位泳いでいる。国体に出場が決まった時の心境は、「うれしかったけど、個人種目ではないので、自分が足を引っ張ってしまうのではないかと不安だった」と語ってくれた。

県大会はすごく緊張しましたが、順番待ちのとき、隣にすわった人がとてもおもしろくいい人だったので、緊張がほぐれ、予選の時よりもしっかりできました。修学旅行の翌日が決勝だったので準備不足で、その場まかせでスピーチをしてしまった感じでした。でもそのおかげで自然にできたと思います。」と語ってくれた。

中尾さんは英検一級に見事合格。

Maeve Ious !!

コンクールに二年連続グランプリ

交通安全ポスター

交通安全ポスターコンクールに、源馬貴子さん(15)、最優秀賞にかがやいた。図柄は、弁慶と牛若丸の五条の橋の決闘を上手に交通安全に生かしたもの。そのアイデアのおもしろさに思わず魅きつけられる見事な出来栄えでグランプリに選ばれたのも、なるほどと納得させられる。源馬さんは受賞の感想を次のように語ってくれた。

「ポスターの絵柄については、毎年似たような絵柄だったので、今年は変わったものを描いてみたいと思いました。作品を描いた期間は、五月から七月くらいでした。しかし私は提出期限をすぎてしまいあせって書き上げました。そして、最優秀賞と聞いて冗談だと思ってしまいました。二年連続賞をもらったことについて織田先生は一年ごとの実力勝負だからね、とよろこんでくれました。」

源馬貴子(15)

運動部

○陸上部

遠州陸上新人大会

本校　鈴木守弘一位

鈴木守弘二位

本校　阿部里江子三位

四百M　阿部里江子三位

静岡県高校駅伝大会

参加六十校中　十位

○サッカー部

全国高校サッカー選手権静岡県大会

1回戦17―0オイスカ

2回戦2―0吉原商

3回戦0―5清水市商

浜松市スポーツ祭

1回戦7―0農業経営

2回戦3―1浜松商

準決勝0―0浜松湖東

PK5―3

決勝　0―0聖隷学園

両校優勝

○男子ハンドボール部

県ハンドボール選手権大会

準決勝13―17気賀

三位決定27―25御殿場

三位決定

地区新人戦

1回戦29―6城北工

準決勝16―9浜松湖東

決勝　26―23気賀

○女子ハンドボール部

県選手権大会

1回戦　6―17二俣

敗者復活9―20気賀

○男子バスケット部

選抜地区予選

本校　70―86三ケ日

○女子バスケット部

選抜地区予選

本校　130―22磐田東

本校　61―75浜松市立

本校　76―36浜北西

本校　65―70浜商

選抜県大会

1回戦25―96沼津市立

○卓球部

地区新人戦　男子

1回戦3―1城北工

2回戦1―3浜松湖南

地区新人戦　女子

1回戦3―2掛川東

2回戦1―3磐田南

敗者戦

1回戦3―0新居

2回戦3―0磐田西

3回戦3―0磐田北

九位県大会へ

県新人大会

1回戦1―3沼津西

○剣道部

新人戦地区大会

1回戦2―2三ケ日

（代表戦敗）

○柔道部

新人戦

二年生の部

対浜名二人残し敗退

一年生の部

1回戦4―1磐田農業

2回戦0―4江之島

○野球部

静岡県大会

1回戦　6―10富士宮西

敗者復活9―20気賀

順位決定戦0―2浜商

7・8位決定

2―1掛川工

県選手権県大会

1回戦2―0修善寺工

2回戦1―2静岡西

○女子バレー部

県選手権地区予選

2回戦0―2江之島

○男子ソフト部

県選手権大会団体予選

1回戦2―1静岡北

2回戦1―8星稜

○女子ソフト部

新人戦西部予選

1回戦6―1横須賀

2回戦0―19掛川東

○男子テニス部

秋季地区大会

1回戦0―3浜松北

○女子テニス部

秋季地区大会

2回戦1―2信愛

○水泳部

東海高校総体

一五〇〇m自由形　十位

鈴木英太

一〇〇m自由形　十一位

鈴木雅子

二〇〇m自由形

鈴木雅子　十三位

国民体育大会

一〇〇m自由形

鈴木雅子　出場

県新人戦

四〇〇m自由形

鈴木英太　四位

八〇〇m自由形

鈴木英太　二位

一〇〇mバタフライ

山田智徳　五位

二〇〇mバタフライ

山田智徳　六位

一〇〇m自由形

鈴木雅子　六位

二〇〇m自由形

鈴木雅子　四位

○吹奏楽部

静岡県吹奏楽コンクール

西部大会　銅賞

○美術部

静岡県西部高等学校美術工芸展

奨励賞　望月美智子

丸山　友

文化部

○放送部

SBSラジオ「'93めざせ甲子園」

優秀賞

校内トピックス

講師紹介

直中の高校生のエネルギーに押されないよう生き生きと学びたい。

古橋　加奈子先生

①昭和46年8月21日

②保健

③静岡県立浜名高校

④ショッピングをしたりゴルフをしたりなどです。

⑤大変素直で、心の優しい生徒が多いと感じました。女子が男子生徒に可愛がられているなとも思いました。

⑥元気で伸び伸びと毎日を精一杯過ごしている生徒が理想像です。

⑦背が低いため、生徒と間違わないようにして下さいね。いろいろな事に興味があるので、お話をみなさんから聞かせて下さい。

⑧一人前の養護教諭になれるよう、みなさんといっしょに勉強していきたいと思っています。

竹内　靖乃先生

①昭和×年8月27日

②国語

③静岡県立浜名高校

④合唱（年末は〝第九〟来春にマーラー第八番）茶道・美術鑑賞その他

⑤環境：視界が開けている。生徒：優しすぎる・スマート・柔順（二・三年生は骨っぽいのかも）

⑥素直、一生懸命になれる、知的興味・探究心旺盛であり、豊かな心をもっている健康な紳士淑女。

⑦黒板の字にすべてが表出されているように、背の高さと比例しないことが多い。飄々としている。

⑧やっと覚醒期（？）を過ぎたところで、これからがおもしろくやれるのではないかと思っている。同年代をみると、各々の世界で頭角を露し、活躍されている方も多くなってきた。スロースターはそれなりに頑張っていけばいいと自分を励まし、志をもってゆきたい。青春真っ

古橋加奈子先生

竹内　靖乃先生

大隅先生お嬢さん誕生

由里佳ちゃん

養護の大隅晶代先生に十月二十四日、女の子の赤ちゃんが誕生した。名前は由里佳ちゃん。呼びやすくて珍しいのでこの名前にしたそうだ。由里佳ちゃんは父親似。明るくてやさしい子に育ってほしい。女の子は男の子とはまた違った楽しみがありそう。家族そろって今からもうメロメロです。

清水先生ゴールイン

十一月二十八日に清水格先生が結婚された。相手は幼稚園の先生。去年の暮れにお見合いをして出会った。ハネムーンはオーストラリア。子供は二、三人で明るい家庭を築きたいとおっしゃった。末永いお幸せを祈る。

編集後記

この二学期は、中日新聞社の「わたしたちの学校」編集が入り、二回新聞を発行した形になり、忙しい状態でした。しかし、中日新聞社で、実際に記事を紙面にしていく作業を体験でき、すっかりコンピュータ化されていることに驚きました。その経験が生かされたかどうかわかりませんが、今回の号は、全部員が頑張り盛りだくさんの内容になりました。

鈴木先生のお話は、まとめるのに苦労しました。でも、活字になって読み返すとやっぱり面白く、興味深い話です。是非読んで下さい。

行事が多かった二学期も終わり、後はクリスマスとお正月。うれしいですね。三年生はもう少しなので頑張って下さい。来年も良い年でありますように。

南高に新しい風　マンフレッド先生

7月末にローズ・カシオッポ先生とお別れをするのは、とても残念でした。そんな私たちの淋しさを補って余りあるような、大きなそして元気一杯の先生をお迎えしました。マンフレッド・カネギター先生です。UCLAのacronym（頭文字のこと）は日本でもお馴じみになりましたが、先生のご出身も同じく名門カリフォルニア大学の姉妹校UCSB（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）です。

先生は、授業で早速1年生全員に英語の名前をつけさせました。その名前を呼び、教室中を動き回ってとても生き生きと楽しそうに授業をしています。南高に別の風が吹き込み新鮮な感じです。

マンフレッド先生に、富士山麓高校生山の村の体験記と自己紹介の文を書いていただきました。

「山の村のすばらしい風景

「マンフレッド先生……。先生がキャンプを好きだといいのですが。10月20日にとても元気な1年生と一緒に山の村へ行く予定ですから。」何を予想すべきか、私には分からなかった。多分、いっぱい虫がいて、ちゃんとしたトイレがなく、熊や蛇が出る所かもしれない。しかし、私は発見した。山の村は、すばらしかった。

大きな山小屋、台所、寝室、ふとん、それに電子オルガンさえもある完全な山のリゾート地であった。(Sugoine？)

たいてい全ての事がとても順調に運んだ。熊も蛇もいないし、道に迷った者や怪我人も出なかった。生徒達は行儀も良く、食べ物も充分あり、みんなでバレーボールをする時間もあった。加えて富士山を撮るのにピッタリの好天気だった。多分、最も重要なのは生徒達と「行動を共にする」ことができたことだ。私服の生徒たちを見るのは、本当に新鮮で私の目はとて～も、幸せだった。とうとう黒やネイビーブルー以外の色彩を見たのだ。

最後の夜、私たちはナイトウォークラリーを行い、それから星を観察した。いつものように、私は流れ星を見逃してしまった。だから、もう一度美しい山の村に行かなければならないのだろう。

生徒たちと先生方へ

私はマンフレッド・ディラロ・カネギターJrです。ローズの後任の新しい英語教師です。1970年にニューヨークで生まれました。16ケ月後、両親と私はカリブ海（Saint Maarten）に引越し、13年間過ごしました。それから、ニュージャージ州の中学・高校に通いました。高校最後の年、英語クラブの人たちとイギリス、スコットランドを訪れることができました。

1989年に、私はカリフォルニア大学、サンタバーバラ校に通い始めました。専攻は、社会学です。1991年、洋上セミナーに参加しました。いわば、世界中を回る大きな浮かぶ学校のようなものです。カナダ、日本、中国、台湾、マレーシア、インド、ケニア、南アフリカ、ブラジル、ベネゼイラに行きました。

私には、兄弟も姉妹もいません。好きな色は赤。大きな犬がとても好きです。バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球、テニスを楽しみます。しかし、一番好きなのは、人を笑顔にすることです。だから、学校の内外で私に会ったら、笑顔で“hello”“how's life？”とか“what's shaking？”と言って下さい。

最後に全先生方、新しいアパートのことで私を助けてくれた事務の方々に感謝します。私は南高にいることをとても楽しんでいます。いろいろありがとうございます。ではまた。元気で、さようなら。

マンフレッド・カネギター

The Beautful Scenery Yamanomura

by Manfred Delano Cannegieter J.R.

“Manfred-sensei...I hope you like camping because on October 20th, you will be going to Yamanomura Camp with the very genki first year students.” I did not know what to expect. Maybe there would be tons of bugs, no regular toilets, bears and snakes, but as I found out, Yamanomura was nice.

It turned out to be like a mountain resort complete with big cabins, kitchens, bedrooms, futons and even electronic keyboards.(Sugoine？)

Everything in general went very smoothly. There were no bears and snakes, everyone had a good time playing velleyball, plus we had good weather-perfect for taking pictures of Fuji-san. Perhaps most importantly I was able to “hang-out” with the students or as you all say in Japan “I played with the students”. It was really refreshing to see the students in regular clothes, my eyes were soooooooooo happy！ I was finally seeing other colors besides black and navy blue.

On the last night we went on a night walk rally and then star gazing. As usual I missed all the falling stars, so I guess I will have to go to beautiful Yamanomura again....

Dear Students and Teachrs,

My name is Manfred Delano Cannegieter Jr. I will be the new English teacher to replace Rose. I was born in New York in 1970; after 16 months my mother and father and I moved to the Caribbean (Saint Maarten) for 13 years. Then I went to a junior and senior high school in New Jersey. During my last year in high school, I was able to visit England and Scotland with the English Club for 10 days.

In 1989, I began attending the University of California at Santa Barbara. The main subject I studied was Sociology. In 1991, I went on Semester at Sea, which is like a big floating school that goes around the world. We went to Canada, Japan, China, Taiwan, Malaysia, India, Kenya, South Africa, Brazil and Venezuela.

I do not have any brothers or sisters. My favorite color is red. I like big dogs a lot. I enjoy playing volleyball, soccer, baseball and tennis. But my favorite hobby is to making people smile. So when you see me in or out of school, Please smile and say “hello”, “how's life？” or “what's shaking？”

Lastly, I would like to thank all the teachers and the office staff for helping me into my new apartment. I'm really excited to be here. Thanks for everything!! See you later. Take it easy.

Sincerely yours,

Manfred Cannegieter